



風の子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.9

令和2年7月22日発行

風の子たちの1学期

1・2年



1・2年生は、「えがお、いっぱい」を学級目標にして活動してきました。今年度は、キュウリ、中尾キュウリ、ピーマン、コンニャクイモ、スイカ、カボチャ、サツマイモ、エダマメだけでなく、越の丸ナス、落花生、ポップコーンを育てています。毎日水をあげたり、観察したりしてみんなで成長を喜んでいます。できた野菜を食べたり、野菜と遊んでいる絵を描いたり、絵手紙を描いたり、紙粘土で野菜を作ったりしています。野菜が大好きな1・2年生です。

3・4年生は、「わくわく木浦探検隊」として、地域のよさをたくさん見付けました。花や緑に囲まれた中尾の風景、正願寺の庭、鬼舞神社から見える日本海、アユやヨシノボリが住む木浦川、学校から見えるきれいなアジサイ…。木浦の山・川・海の恵みを感じました。高齢者や足が不自由な人にとって不便なこともあると考え、車椅子体験をして自分にできることを考えました。人にも優しい木浦にしたいです。

3・4年



5・6年



5・6年生は、ふるさと木浦の歴史を主題に学んできました。「木浦の地名の由来は、東陽寺の大日如来が関係すること」「鬼舞や鬼伏の地名の由来は、八幡太郎義家と鬼との力比べが関係すること」など、自分たちが住む地名の由来について、新たな気づきを得ました。地曳網では、潮の流れを計算するといった人々の知恵で漁業をしたことを知りました。それらの学習をとおして、ふるさと木浦のよさを改めて実感し、大切にしようとする気持ちを育てています。

1学期を振り返って 豊かな体験ができる木浦に感謝

新型コロナウイルスで社会が揺れ動いた1学期。地域との大行事の木浦わくわく運動会が中止になり、常にマスクを付け、感染予防を心掛けるなど、学校生活が一変しました。そのような状況下でも、「密」を避けられるのが小規模校の強みと捉え、当校の特徴でもある体験活動を、バリエーション豊かに実施してきました。これも学校や子供たちの要求に応え、教育活動を支えてくれる地域があるからこそ。糸魚川で1番だと自負しています。

他県、他市町村では教育活動が大きく制約され、夏休みを短縮する学校も多数あるにもかかわらず、当校では学習指導も滞りなく行われました。子供たちが健やかに、実り多い1学期を終えられたことを心から感謝しています。



1・2年絵手紙教室 (7/15)

初めてで練習なしのいきなり本番でも、素朴で味わいのある作品になりました。



3～6年海釣り体験 (7/17)

恒例行事。豆アジ100匹以上の釣果。唐揚げにして全校でいただきました。

今後の主な予定とお知らせ

夏季休業 7月23日(木)～8月26日(水)

【お盆の閉庁期間について】

8月11日(火)から14日(金)までは閉庁します。土日祝日を含めると、8日(土)から16日(日)までの9日間となります。御理解と御協力をお願いします。

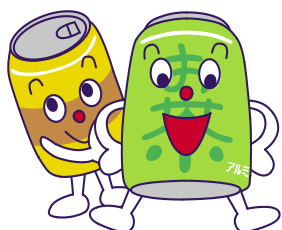
※緊急連絡先(市役所こども教育課 552-1511)

8月24日(月) PTA校地校舎美化活動・木浦学級

8月27日(木) 2学期始業式

9月8日(火)～9日(水) 妙高宿泊体験学習(5・6年)

9月10日(木) 学習参観、学校保健委員会、PTA委員総会



地域の皆様に御協力いただき、集められたアルミ缶の収益金が7910円になりました。児童会費として子供に関わる活動に使わせていただきます。心から感謝申し上げます。

今後もこれまで同様、御不要のアルミ缶は当校駐車場奥の青いふたの回収箱にお入れください。御協力をお願いいたします。